

蓼科の旅

塚田 實

ゴールデンウィーク期間中蓼科を訪れた。五月四日に出発したので、ある程度の渋滞は予想したが、それほどでもなかった。途中小淵沢の星野リゾート・リゾナーレ八ヶ岳に立ち寄り散策、夕方には馴染みのペンションに着いた。

夕食前にラウンジでコーヒーを飲みながらリラックスしていると、突然スマホが激しく鳴り、緊急避難情報が入ってきた。「霧ヶ峰高原で山火事発生、高原周辺のX地区の住民は緊急避難してください。尚、ビーナスラインは避難住民を除き道路閉鎖です」。幸いにもペンションは距離が離れていたので避難する必要はなかった。霧ヶ峰高原は翌日散策する予定でいたところだ。

翌日朝、山火事は自衛隊も出動するなどして鎮火したものの、危険を避けるため霧ヶ峰高原散策は諦め、北八ヶ岳ロープウェイに乗って、山頂駅周辺の坪庭を散歩するよう計画を変更した。

この日はまれに見る好天で、ロープウェイからは周囲の山々が遠くまでくっきりと見える。二十歳のときに登った剣岳立山連峰、二十一歳のときに縦走した大キレットが特徴的な槍ヶ岳から穂高連峰の北アルプス、乗鞍岳や御嶽山に続いて、木曾駒ヶ岳などの中央アルプス、北岳や仙丈ヶ岳が連なる南アルプス、雲が湧く中登山した赤岳のある八ヶ岳連峰などが一望できた。いずれも懐かしい山々だ。

頂上で以前歩いたことがある坪庭を散歩すると、この時期岩陰には雪が残っていた。

山から降りて、チューリップが満開のバラクラ・イングリッシュ・ガーデンで昼食をとりペンションに戻ると、午後二時四十分頃またスマホが激しく鳴った。「緊急地震速報」に続き、ペンションは地震でかなり揺れた。すぐに能登地方で最大震度六強の地震があり、蓼科も震度三だったことが伝えられた。

五月六日は蓼科湖畔のザ・ババリアン・ペーターに寄ってソーセイジとハムを買い、「たてしな自由農園原村」で野菜などを買って東京に戻った。

二つの緊急情報に見舞われたものの、今年も蓼科の旅を楽しんだ。